社說

財政の方針と經濟社會

政府にして眞に財政整理の目的を達せんとならば增稅の一事を斷行して確實の財源を求むるの外に適當の策なきは甚だ明白にして世間に異論を見ざる所なるに兎角その斷行に躊躇して今度の臨時議會にも增稅案の提出を見るや否や甚だ疑はしと云ふ當局者は就任以來財政上の調査に多くの時日を費し結局本年度の追加豫算を編成するに當て萬計に四千六百萬圓の削減を加へたる由なれども正削減は竟も事業縮少の結果にあらずして單に繼續事業費の年度割を變更したるに過ぎざれば豫定の期限までに事業の完成を謀らんには適當の財源を求めて必要に應ぜしめざる可らず從來政府は軍備擴張等に其他の事業を見て盡く臨時のものと認め從つて之に要する一切の經費は借金と公債とを以て支辨するの方針にして現に十箇年度財政計畫に據れば本年以後七八年間に右の目的の爲めに一億十八百萬餘圓の借金を流用すると同時に一億三千三百萬圓の公債を募集するの豫定なりと云ふ昨今の如く內國の金融非常に逼迫して公債を始め藩屏券の價格著しく下落し前途容易に恢復の見込なき場合に五分以下の利子にて右の如き巨額の公債を募集するは到底企て及ばざる所なれば結局借金の一時借濟を好機とし費途未定の分を流用して盡く公債の募集に應ぜしむるとならん從來の實驗に徵して疑を容る可らざる所にして現に本年度の追加豫算に於ても借金を繰入れて財源に充つ可しと云ふ當局者が借金皆濟を熱望したるも全く此邊の事情に出づる者ならん斯く其の一部を流用して公債應募の風を裝ひ以て一時を彌縫するも借金には既に失れ〳〵一定の費途あるを以て大に之に依賴する能はずとすれば募集の成績は如何に處分す可きや財政前途の困難は此一點にして斯る場合に迫れば政府は外債を募集するか公債を海外に賣出すか孰れか其一を斷行せざる可らず殊に昨今風說の如く政府が經濟社會目下の困難を救濟せんが爲めに借金の一部を割て外債を募入れんには其公債を再び內國の市場へ賣戻すは容易に望み難き所なれば海外へ販路を開て財源を求めざるを得ざる可し政府が增稅の斷行に躊躇して從來の財政計畫を踏襲するに於ては右の如き成行を見るは必然の勢にして借金の繰入と云ひ外債の募集と云ひ或は公債の[illegible]と云ひ、外資の輸入と同樣なれば結局[illegible]政は外資に依て維持せらるゝの結果[illegible]財政を果して[illegible]の得たるものと云ふ可し[illegible]之が爲めに經濟社會を救ひ[illegible]今の如く輸入[illegible]を救ひ[illegible]は在外の正貨を爲換作用にて取寄するは容易の事なれば政府は必ず此方法に依て內地へ回收を謀る事ならん然らば日本銀行の正貨準備は自から取付けを免かれて正貨流出の弊を絕つに至る可しと雖も一方より考ふれば此時より兌換制度は既に自然の作用を妨げられて通貨收縮の實を收むる能はず從て物價は容易に下落の傾を呈せざるのみか若しも政府が先年の例に倣ひて借金預合法を再始し或は現金取寄せを行はんには直接に通貨を膨脹せしめていよ〳〵物價の騰貴を促す可し昨年來金融の著しく逼迫したるは物價騰貴の與て力ある所にして其緩和を謀らんには價を下落せしむるの外に道なきは明白の事實なるに政府の財政計畫は却て其下落を妨ぐ可しと云ふ財政上、外資を流用するの結果にして斯る成行にして永續せんには假令ひ中央銀行が借金の回收に依賴して金利を引上げざるも今後大に金融の緩和を見る能はざる所以なり昨今一部の實業家は金融市場の逼迫を救はんが爲めに借金を流用して軍事公債を償還するの必要を唱へ熱心に運動中の由なれども本來經濟社會の困難を招きたる原因は財政上より兌換制度の作用を妨げて通貨の膨脹を促したる一事にみるあれば眞に救濟の目的を達せんには政府をして先づ財政の方針を一變せしめざる可らず即ち借金を始め在外の正貨は外國拂の經費に充つるの外一切內地への回收を止め借金を以て支辨す可き豫定の內國拂の經費は更らに其財源を增稅に求むるなり或は此事業にして利殖の性質あるものならんには金融市場の緩和を呈するを俟つて內債を募集するなり孰れにしても經濟社會の變態を避くるみそ財政の主眼とす可き所にして今日の如く外資流用の爲めに通貨を膨脹せしめて物價の騰貴と金融の逼迫とを促し財政計畫に於て大に依賴せる公債募集をしていよ〳〵困難ならしむるは決して財政の基礎を鞏固にするの道に非ず即ち經濟社會の實際より見るも財政整理の爲めには增稅の欠く可らざる所以にして實業家の輩も妄に通貨を膨脹していよ〳〵困難を苦たしうするが如き措策は斷じて思ひ止まり政府に增稅の斷行を迫る可し財政の方針にして宜しきを得れば經濟社會が姑息の救濟を俟たずして自から恢復するに至るは我輩の固く保證する所なり

電報

(時事新報倫敦特電)

○米國水雷驅逐艦、三隻の西班牙砲艦と戰ふ

倫敦五月十一日ロイター發

○米國水雷驅逐艦ウインズローは去る日曜日(八日)にカーデナス沖に於て三隻の西班牙砲艦に戰を挑みて小衝突ありウインズローは能く戰ひ砲艦一隻の戰鬪力を失はしめ自艦は些も損害を受けずして引揚げたり

カーデナスはキューバ嶋北岸の一港にしてハヴァナを距る東七十五哩にあり

○桑港の送兵準備

同上

米國は五千の陸兵を桑港に集め居れり同港より乘船してマニラに發遣する筈なり

○西班牙に一撲起る

同上

西班牙國內には所々に激しき一撲起りて形勢不穩なり

○米國議會、司令官を勞ふ

同上

米國議會は其亞細亞艦隊司令官デユーウイ將軍の功勞を賞する案を通過せり

○西弗の一撲は大事にあらず

同上

英國殖民大臣チエームバレーン氏は下院に於て說明して曰くセーラ レオーンの一撲に關する報道は頗る誇張され居れり之が爲めに歐洲の兵を發すべしとは思ひも寄らざる所なりと

(以上五件前號の附錄再記)

○叙任辭令

神奈川縣鎌倉郡長(總務等官七等) 高知縣書記(總務等官七等) 高橋賢道

任神奈川縣鎌倉郡長(總務等官七等) 高知縣書記(總務等官七等) 山田勝之介

任神奈川縣中郡長(總務等官六等) 神奈川縣中郡書記(總務等官七等) 任鳥取縣中郡長(總務等官六等) 鳥取縣中郡書記(總務等官七等) 任鳥取縣東伯郡長(總務等官六等) 鳥取縣東伯郡書記(總務等官七等) 任鳥取縣東伯郡書記(總務等官七